

第6学年 理科学習モデル指導案

1. 単元名 「植物の体のはたらき」

2. 本時について

(1) 本時の目標

○植物の体内には水の通り道があることを理解する。

(2) 本時の展開(最後の10分の展開)

分	教師の支援	学習活動
1		T: これまでの学習を生かして、次の課題について考えてみましょう。
	☆ワークシート「緑のカーテンのヒミツを考えよう」を配布し、緑のカーテンによってなぜすずしくなるのかを、これまでの理科の学習を生かして考えさせる。	
2	●個人で考える時間をとり、途中でペア活動やグループ活動を取り入れ、なかなか書けない児童には教えたり、あるいは説明し合ったりする活動を入れる。	T: 緑のカーテンに含まれる水蒸気はどこからやってきたのでしょうか? C: 葉についている水かな。 C: 植物の体内に含まれる水が関係していると思うよ。
5	●発表の中で、共通するキーワードとなるものを見つけ出すように促す。	T: 考えを発表しましょう。 C: 植物の体内に含まれる水分は水蒸気となって葉から外へ出ていくので、植物の周りにある水蒸気は、植物の体内から出ていると思います。 T: 緑のカーテンは、理科で学習した植物の体のはたらきを活用した取り組みだということが分かりましたね。
7	●職業シート「ドライミストの設置」を配布し、植物のはたらきが工業製品にも利用されていることを伝える。	T: 最後に、植物のはたらきを利用して、身近な工業製品を開発した人を紹介します。
9	☆キャリアの宝につながる解説(児童への落とし込み)をする。	
	<p style="text-align: center;">ドライミストを開発した人の話から、植物の体の仕組みを理解した上で、それを人々の生活を快適にするために利用していることが分かりましたね。実は、これ以外にも植物の体のはたらきを利用して作られたものはあるのです。今まで、何げなく見ていたものも、今回のように学習してきたことが使われていることがわかるとより興味深く観察することができると思います。今、学習していることは未来にもきちんと生かされているのですね。</p>	